

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	新潟の歴史 (History of Niigata) 2013013-051					担当教員	遠山 典子 (トオヤマ ノリコ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目/知識定着・確認型AL、課題解決型AL、								

① 授業のねらい・概要
<p>近年、地域史の重要性が歴史学において提唱されている。本講義では、高校までの教科書的な中央の政治史を中心とした視点とは異なり、新潟県の風土や産業、人物、伝説などを取り上げ、新潟県がどのように形成され、どういう歴史を歩んできたかを考察する。テキストや資料だけでなく、プロジェクターでの画像の提示や、時にはビデオの視聴などを取り入れながら授業を進めたい。また、単に講義を受講するだけでなく、自ら主体的に学ぶために、学習課題を設定した。身近な歴史・生活文化を考察するために、課題は自己の出身地や生育歴に関するものも取りいれている。</p> <p>さらに、地域や県内外の博物館、資料館、史跡などへ学生が直接足を運び、レポートを提出するフィールドワークの課題も設定している。</p> <p>単位修得レポートは、各個人の興味・課題にもとづいた地域探訪の計画・事前資料の作成および実施のレポートおよび報告（発表・自己評価）とする。</p>
② ディプロマ・ポリシーとの関連
<p>地域社会に貢献する姿勢／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力を育成する授業である。</p>
③ 授業の進め方・指示事項
<p>基本的には、配布資料とプロジェクター等により解説する講義形式である。授業はあくまでも、学生の主体的な学びの導入であり、そこから興味を持ったテーマに関する学習課題の作成・提出が重要である。評価は、課題と単位修得レポートを中心に行う。</p>
④ 関連科目・履修しておくべき科目
<p>他の地域志向科目と関連しているので、併修が望ましい。</p>
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
<p>(i) 講義の内容を理解し、主体的に新潟県の歴史について学んでいる。</p> <p>(ii) 興味を持った人物や事象について、課題として調べまとめる。</p> <p>(iii) 自己のテーマに基づいた見学コースを作成し、実際に行って見学・体験し、良かった点や問題点などをあげ報告（発表・提出）し自己評価する。</p>
⑥ テキスト（教科書）
<p>特にもうけない。各回、資料・レジュメ等を配布する。</p>

⑦ 参考図書・指定図書

- 田中圭一他『新潟県の歴史（県史15）』山川出版社（2017）
『図説 新潟県の歴史（図説 日本の歴史15）』河出書房新社（1998）
『新潟県の合戦 長岡・柏崎編』株式会社いき出版（2011）
『図説 長岡開府四百年』株式会社 いき出版（2018）
『図説 長岡・柏崎の歴史』株式会社郷土出版社（1998）
『図説 上越の歴史』株式会社郷土出版社（1998）
『図説 十日町小千谷 魚沼の歴史』株式会社郷土出版社（1998）
『図説 新発田・村上の歴史』株式会社郷土出版社（1998）
『図説 佐渡の歴史』株式会社郷土出版社（1998）
『新・にいがた歴史紀行（全12巻）』新潟日報事業社(2004)

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(1) 講義の内容を理解し、主体的に新潟県の歴史について学んでいる。	授業内容に関する自己の見解や感想などにもとづいて、関連文献や歴史事象を調べる。	授業内容や資料を理解し、そのことに関して、自己の見解・感想を文章などで表現できる。	授業内容や資料を読んで、理解できる。	授業に出席して、教員の支援を受けて、授業や資料等の内容を理解できる。	授業には出席しているが、教員の支援を受けても、授業や資料等の内容は理解できない。
(ii) 興味を持った人物や事象について、課題として調べまとめる。	テーマにもとづいた課題を調べまとめるだけでなく、実際に現地に行ったり、関連する他の事象について調べたりした優れた課題を提出できる。	テーマを適切に設定して、指定された内容をきちんとまとめた課題を提出できる。	課題のテーマを設定して調べ、課題を提出できる。提出内容はやや不十分である。	課題の内容を理解しテーマも設定できるが、調べたことを課題として提出できない。	教員の支援を受けても課題の内容が理解できず、テーマも設定できない。
(iii) 自己のテーマに基づいた見学コースを作成し、実際に行き見学・体験し、良かった点や問題点などをあげ報告(発表・提出)し、自己評価する。	自己の問題意識にもとづいた見学コースを作成・実施する。報告や自己評価にもとづき、これからの学業や研究への展望を示すことができる。	自己のテーマにもとづいた見学コースを作成・実施し、レポートとしてまとめ、適切な報告や自己評価ができる。	自己のテーマにもとづいた見学コースを作成・実施し、レポートとしてまとめられるが、報告や自己評価が不十分である。	教員の支援を受けて、見学コースを作成することができ、実施するが、レポートとしてまとめられない。	教員の支援を受けて、見学コースを作成するが、実施しない(できない)。

⑨ 学習の到達目標(評価項目)とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標(評価項目)	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			35%	35%		30%		100%
(i)						10%		10%
(ii)			35%			10%		45%
(iii)				35%		10%		45%

フィードバックの方法	課題はコメントして返却。レポートは発表の際、講評する。
------------	-----------------------------

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
この授業は新潟県の歴史ですが、教室だけの講義にとどまらず、個々の興味・関心に基づいて、積極的に地域の史跡や歴史遺産、博物館、資料館などに出かけたり、自分史を掘り起こしたりして、自らの体験に基づいた歴史を学んでほしいと思います。なお、各回の学習課題や単位修得レポートの提出などかなりハードな学習が予想されるので、安易な気持ちではなく、しっかりとした覚悟を持って選択してほしいです。皆さんの課題やレポートを読むのが楽しみです。（歴史オタク歓迎）	

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	新潟県の風土と特産物・伝統産業・食文化について	自分の出身地の風土や特産物・伝統産業・食文化などテーマを決めてまとめる。	60分
2	火焰土器の国一縄文時代	自分の出身地もしくは興味を持った博物館・資料館・史跡を見学し、その感想をまとめる。	180分
3	淳足柵・岩船柵と越後国・佐渡国の成立	古代の越後国・佐渡国の成立過程とその性格についてまとめる。	60分
4	古代から中世にかけての歴史と史跡	自分の出身地（興味をもった土地）の地名の由来や歴史をまとめる。	120分
5	越佐の伝説	自分の故郷の（興味をもった）伝説や伝承もしくは史跡を紹介する。	120分
6	中世の越後と上杉氏 —謙信・景勝、直江兼続など—	興味をもった中世越後の人物や史跡、様々なエピソードなどについて調べる。	120分
7	江戸時代の越後 —長岡藩を中心に—	自分の出身地や、興味を持った藩や地域について調べ、その感想をまとめる。	120分
8	越後の伝統産業 —織物と『北越雪譜』—	県内外の興味を持った伝統産業や文化人を取り上げ、調べる。	120分
9	越佐の学問 —長岡藩の医学と腑分（人体解剖）を中心に—	自分の出身地もしくは興味をもった江戸時代の学問や学者について調べ、感想をまとめる。	120分
10	北越戊辰戦争 —長岡藩と河井継之助—	自分の出身地や興味をもった地域や人物について幕末から明治維新期の歴史や生涯について調べる。	120分
11	「米百俵」と長岡の人材教育 単位修得レポートの説明	自分が学んだ小学校の創立と歴史を調べ、まとめる。	120分

12	長岡の復興とランプ会 —三島億二郎や長岡の復興に尽くした人々—	長岡もしくは自分の出身地もしくは興味のある地域で、明治の近代化に貢献した先人を調べる。	120分
13	◆新潟の近代産業 新潟県の近代産業についての講演（予定）	外部講師の講演を聞き、感想をまとめる。（通常の講義に変更する場合もある）	60分
14	長岡空襲と花火（予定） —長岡空襲に関するビデオ上映—	ビデオを見ての感想をまとめる。	60分
15	単位修得レポートの発表と提出。自己評価。	単位修得レポート・自己評価の提出。	

⑫ アクティブラーニングについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・当授業では講義と各課題の提出を基本とし、知識定着・確認型 AL／課題解決型 AL を行う。 ・単位修得レポートでは、地域探訪コースの作成および実施による課題解決型 AL を行う。 ・単位修得レポート及び第2講義の課題では、実際に博物館・資料館・史跡等を訪れる課題探求やフィールドワークによる課題解決型 AL を行う。 	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
<p>高等学校の日本史教員および歴史博物館や資料館の研究員・学芸員として新潟県を中心とした地域史の研究活動と教育・普及活動をしてきた。関連の著作もいくつかあり、講演・講座等の活動も行っている。また、歴史研究会に所属し、地元の歴史の掘り起こしや様々な活動に携わっている。</p>	
実務経験と授業科目との関連性	
<p>新潟県を中心とした地域の歴史・文化・伝統産業の重要性や地域史を学ぶ意義と楽しさを学生に伝え、地元の資料を教材化して授業を構成することに取り組みたい。また、河井継之助、小林虎三郎、三島億二郎などの長岡の偉人の業績や、長岡大学周辺の悠久山をはじめとした地元の歴史も学生に紹介したい。学生それぞれの興味や関心にもとづいて、身近な歴史を調べる面白さも伝えたい。</p>	